

授業カリキュラムと実践例

4. 実践例2 「コミュニケーションの影響」

『生命と機械をつなぐ授業』 第6章より

実際の授業風景をYouTubeで公開中

フルバージョン
ダイジェスト

http://youtu.be/GyMLlxi_eYY

http://youtu.be/MMyYxkTJ_Qs

現実の意味を確認する

発問
具体的にどんなとき？

現実を感じるのはどんなとき？

これが現実か…



- お金なくて、欲しいものが購入できなかったとき。
- 好きな人に告白して振られてしまったとき。
- 勉強したのに、テストで良い点が取れなかったとき。
- 使用したい著作物の許諾を受けられなかったとき。
- 生徒会会長に立候補して、落選したとき。
- …

貨幣

愛

真理

法

権力

自分の思い通りにならないとき！

拘束/制約

成果メディアによるコミュニケーション

現実とはコミュニケーションによる拘束/制約である。

発問
これらを一言で言うと？

拘束/制約の潜在化

コミュニケーションによる拘束/制約

拘束/制約というと、否定的なイメージを抱くが...

コミュニケーション
拘束/制約

否定的



箸の持ち方

日常化 → 潜在化

アドバイスのような肯定的なもの、実は拘束/制約である。

コミュニケーション
拘束/制約

肯定的



拘束/制約として意識されない。

潜在化

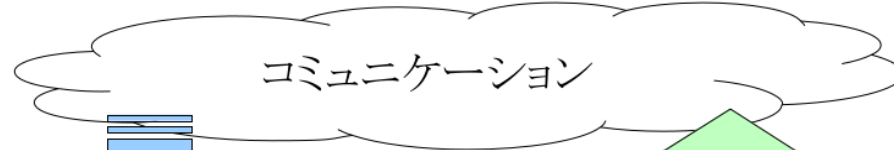
なぜならば、肯定した事柄や行動以外を選択することを否定している

コミュニケーションによる拘束/制約のほとんどは潜在化している。

スポーツでの指導

常識

拘束/制約が潜在化することの意味



拘束/制約

参加・影響

潜在化

複数の人々で
共通化される

常識

成果メディアが
異なる

それぞれの
コミュニケーション
によって異なる

成果メディアに
コミットメント
することができる

日本人と欧米人の
魚の区別の違い

仮のコミュニケーション
定義からの言葉

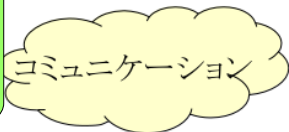
食後の歯磨
日本語の挨拶

コミュニケーションの拘束/制約を潜在化し常識として身に付けることは、
そのコミュニケーションの成果メディアにコミットメントすることに繋がる。

コミュニケーションのタイプ

拘束/制約からみたコミュニケーションのタイプ

ここから内容が
やや具体的になる



拘束/制約



明示的

非明示的

• 家庭でのしつけ、友達との人間関係

私的コミュニケーション

• 学校での教育、職場での人間関係

公的コミュニケーション

• テレビ、ラジオ、新聞、雑誌、…

マス・コミュニケーション

• Webページ、SNS、…

インターネットによる
コミュニケーション

より明示的

より非明示的

コミュニケーションは、私的コミュニケーション、公的コミュニケーション、
マス・コミュニケーション、インターネットによるコミュニケーションに分類される。

各コミュニケーションタイプの特徴

各コミュニケーションタイプの特徴			ダンバー数
歴史的に登場した順番	特 徴	関係する人数	発問 友達何人？
1 私的コミュニケーション	直接的・双方向的	極少数 ⇔ 極少数	発信をするか、 しないかで 異なる
2 公的コミュニケーション	半ば間接的・ 半ば単方向	少数 ⇒ 多数	
3 マス・コミュニケーション	間接的・単方向	少数 ⇒ 大多数	
4 インターネットによる コミュニケーション	間接的・双方向	多数 ⇔ 多数	
一概には言えない			使い方次第！

検索エンジンの順位リストのために
理論通りとは言えない

メディアの定義と影響力

発問

各コミュニケーションタイプによる影響力の違い

伝播メディアによりコミュニケーションの
形態が決定されている。

伝播メディア

1 私的コミュニケーション	直接的・双方向 極少数 ⇔ 極少数	会話、電話、手紙、 電子メール
2 公的コミュニケーション	半ば間接的・半ば単方向 少数 ⇔ 多数	口頭、印刷文書
3 マス・コミュニケーション	間接的・単方向 少数 ⇔ 大多数	マスメディア
4 インターネットによる コミュニケーション	間接的・双方向 多数 ⇔ 多数	インターネット

一般的な影響力

大

メディアとはコミュニケーションを**秩序づけるメカニズム**

自由な意思はあるのか？

現実とコミュニケーション

我々は、様々なコミュニケーションから様々な大きさの拘束/制約を現実として受けている。しかし、それらは潜在化され、ほとんど意識されない。

マインドコントロール

自由な意志は？

現実

常識

常識を疑うことの重要性

インターネットによる
コミュニケーション

公的コミュニケーション

マス・コミュニケーション

コミュニケーションからの潜在化された拘束/制約の中で、
自由な意志というものが果たして存在するのだろうか？

終わり